

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	人工衛星を用いた空港アスファルト舗装の路面評価法に関する調査業務
業務場所	国土技術政策総合研究所
業種種別	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和8年7月31日
履行期間（至）	令和9年2月26日
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所副所長 中川 康之 神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号
契約を締結した日	令和8年7月31日
契約の相手方の商号又は名称及び住所	日本工営（株） 東京支店
	支店長 松田 寛志
	東京都千代田区麹町5-4
随意契約によることとした会計法令の根拠条文	会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号
随意契約によることとした理由	本業務は、空港舗装の勾配管理への合成開口レーダ搭載衛星（以下、SAR衛星）の適用可能性を検討することを目的として、既往調査に関する資料収集整理、現行の勾配評価方法の精度に関する分析、時系列干渉SAR解析による勾配評価を行うものである。 本業務の実施にあたっては、空港舗装の勾配評価に関する調査を行うため、空港舗装の定期点検測量で実施される測量方法に関する専門的且つ広範な知識が要求される。また、SAR衛星による空港舗装の勾配評価を行うにあたっては、舗装からの電波の反射が弱いために生じる高さ変動の解析誤差を抑制することや、高さ変動の解析結果と既存の測量結果を組み合わせた勾配の評価方法を確立することが必要である。そのため、時系列干渉SAR解析方法を含めSAR衛星による空港舗装の勾配評価方法に関する構想力・応用力が要求される。これらが業務の成果に密接に関係することから、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式に準ずる方式により公募を行った。 その結果、3者から技術提案があり、業務実施条件を満たした3者の業務実績及び技術提案書の内容等を総合的に評価した結果、上記法人が、本業務を遂行するのに最もふさわしい法人であると判断された。 以上の理由から上記法人を選定し、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、随意契約するものである。
予定価格 （消費税及び地方消費税含む）	¥11,920,000
契約金額 （消費税及び地方消費税含む）	¥11,890,000
落札率	99.75%
再就職の役員の数	

プロポーザルの評価結果

1. 業務名 人工衛星を用いた空港アスファルト舗装の路面評価法に関する調査業務
2. 特定した提案者 日本工営株式会社 東京支店
3. 特定した提案者の住所 東京都千代田区麴町5-4
4. 特定した提案者の代表者氏名 松田 寛志
5. 特定日 令和8年7月16日

項 目	配点	パシフィック コンサルタンツ株 式会社 首都 圏本社	日本工営株式 会社 東京支 社	株式会社パス コ	
1. 技術者資格					
配置予定管理技術者の技術者資格等	5	4	4	4	
2. 業務実績					
同種業務、類似業務又は同種研究、類似研究の実績	5	5	5	5	
3. 業務成績及び表彰	10	3	8	3	
「配置予定管理技術者」の令和3年度から令和6年度末までに完了した、国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)、全地方整備局、及び沖縄総合事務局(すべて港湾空港関係)発注の建設コンサルタント等業務において、管理技術者及び担当技術者として従事した業務の技術者評定点の平均点	5	3	5	3	
「配置予定管理技術者」の令和3年度から令和6年度までに完了した業務の技術者表彰の有無	5	0	3	0	
4. 技術提案書の内容	120	80.000	90.000	78.000	
1) 実施方針・業務フロー	30	20.000	24.000	18.000	
2) 特定テーマに関する技術提案	90	60.000	66.000	60.000	
特定テーマ1					
SAR衛星による空港舗装の勾配評価方法の工夫・留意点	90	60.000	66.000	60.000	
合 計 (小数点第3位以下切り捨て2位止め)	140	92.00	107.00	90.00	